

地理(日本の人口)

日本の人口は、1940年代後半のベビーブーム以降増加し続けてきたが、1980年を過ぎた

ころから① 化が進み、これに② 化が加わって日本は③ 社会に転じ、近年ではわずかに人口の減少が見られる。

高度経済成長期に、大都市の工場などで働くため、地方から大勢の人が移り住んだことにより、東京、大阪、名古屋の④ が形成された。

1970年代後半以降、高速交通網の整備が進んだため、地方の中心として、札幌、仙台、広島、福岡などの⑤ が成長した。

日本の人口ピラミッドは、⑥ 型 → ⑦ 型 → ⑧ 型に変化してきている。

